

環境調査結果のお知らせ

平成27年10月16日午前10時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は20.5~23.5°Cで、前回調査時(H27.9.25)と比較して表層で0.7°C低下し、1m層から底層で1.1~3.0°C上昇していました。

塩分は25.0~30.0で、前回調査時と比較して全層で23.2~27.7上昇していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は5.1~6.4mg/lで、前回調査時と比較して全層で1.8~2.7mg/l減少していました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.6mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で6cells/ml、貝類に有害なミリオネクタ・ルブラが最高で1cells/ml確認されました。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(°C)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H27.9.25)	
			差(今回-前回)
0m	20.5	21.2	▲ 0.7
1m	21.9	20.8	1.1
2m	23.5	20.5	3.0
B-1	23.5	20.6	2.9

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H27.9.25)	
			差(今回-前回)
0m	25.0	1.8	23.2
1m	26.6	2.1	24.5
2m	29.7	2.6	27.1
B-1	30.0	2.3	27.7

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H27.9.25)	
			差(今回-前回)
0m	6.4	8.2	▲ 1.8
1m	6.0	8.2	▲ 2.2
2m	5.1	7.8	▲ 2.7
B-1	5.3	8.0	▲ 2.7

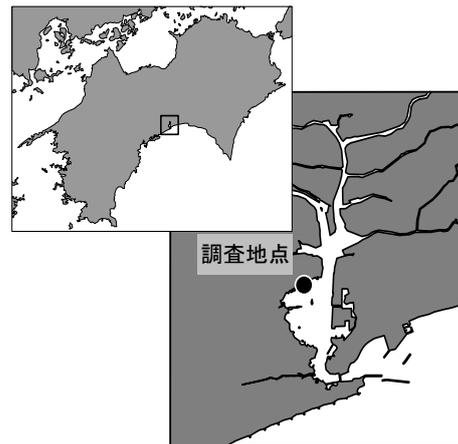


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.5	2.6
透明度	2.6	0.8

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	ミリオネクタ・ルブラ	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	2	0	0	1,100
1	2	0	1	50
2	6	1	2	20

漁業被害が想定される細胞密度

- ・ヘテロシグマ・アカシオ: 10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)
- ・ミリオネクタ・ルブラ: 10cells/ml(貝類の赤変化)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>